

平成18年3月21日

第 16 号

(年一回発行)

京都教育大学  
附属京都小学校  
東櫻同窓会

# 東櫻だより

〒603-8164

京都市北区紫野

東御所田町37

TEL

(075)441-4166~7

発行人 千 玄室会長

題 字 千 玄室会長

印刷 中西印刷

## —「東櫻同窓生のつどい」報告号—



母校体育館兼講堂壁面「春・夏・秋・冬のレリーフ」(山崎正義先生作)



## 御 挨 拶

東櫻同窓会会長 千 玄室

新しい年の春を迎え東櫻同窓会  
会員の皆様には益々お元気で各分  
野にわたって御活躍のこととお慶  
び申します。

平成十七年六月十一日(土)に  
京都ホテルオークラ暁雲の間を会  
場として開催致しました「東櫻同  
窓生のつどい」には三百名の会員  
の皆様の御出席を戴き、なつかし  
く、かつ充実した会となりました  
ことを皆様と共に喜び申します。

この日の「東櫻同窓会総会」は  
堀場雅夫副会長を議長として、前  
回総会以来の事業報告、会計報  
告、並びに、今回総会以降の事業  
計画案、会計予算案が提出され、  
すべて可決されました。

更に、役員人事として、長年に  
わたって本会の事業推進に大きな  
功績を残しながら、平成十六年十  
月十四日逝去されました納屋嘉治  
副会長の後任として、大倉治彦氏

が推薦され、満場一致の拍手で、  
新副会長就任が決定致しました。

大倉治彦氏は、昭和四十六年に  
母校を卒業され、現在は月桂冠株  
式会社の代表取締役社長を務めて  
居られますが、母校のPTA会  
長、教育後援会理事、学校評議  
員も務められていて、堀場副会  
長、常任理事の方々と共に、本会  
の一層の充実発展に寄与して戴け  
るものと期待を致して居ります。

母校の教育研究も一層の進展を  
みせ、文部科学省研究開発学校指  
定の第三次発表会が、平成十七  
年五月二十七日、二十八日に附属  
京都中学校との連携のもとに「キ  
ャリア教育を中核にすえた小中一  
貫カリキュラム」をテーマとして  
行われ、先導的役割を果たしました。  
北校舎に続いて東校舎の全面的  
改修も完了し、母校の物心両面で  
の一層の充実発展を祈ります。



## 御 挨 拶

学校長 堀内 孜

東櫻同窓会会員の皆様には、平  
素から何かとご支援、ご助力賜り  
厚く御礼申し上げます。

この「東櫻だより」が皆様のお  
手元に届けられる頃には、新校長  
も決まっていることと思います。

四年間の在任期間を振り返りつつ、  
同窓会をはじめ多くの方々に支え  
られ何とか校長職を勤めることが  
できたと感謝いたしております。

特にこの一年間は京中の校長も併  
任し、九年制学校の立ち上げに向  
けた取組みを一步進めることがで  
きたのではと考えております。

「キャリア教育」を軸とした研  
究開発への取組みや少人数学級編  
制、教職員組織の拡充、また耐震  
化を含めた校舎の全面改修、と京  
小の今後の発展に向けた基礎固め  
に努めてきましたが、大学の法人  
化や義務教育改革の展開等、本校  
を取り巻く環境の変化への機敏な

対応が更に求められております。  
同窓会や保護者の皆様の熱意とご  
協力が本校にとって最大の財産で  
あり、それを大切にしたい本校発展  
の長期展望がいよいよ必要になっ  
ているかと思えます。

国の義務教育の新たな制度設計  
を睨みつつ、京中と一体となった  
九年制学校設立に向けて、更なる  
条件整備を進めるとともに、何よ  
りも教育の質を高め、揺るぎない  
特色を打ち出していくことが求め  
られているかと思えます。附属学  
校全体の在り方も見直しながされ  
るかと思えますが、十年を目的に  
様々な環境の変化にも対応し、常  
に先進的な教育実践を担う「日本  
一の義務教育学校」となることを  
願っております。そのためにも百  
二十余年の歴史を護つてきていた  
だいた同窓会の皆様の一層のご支  
援をお願い申し上げます。



## 副会長就任御挨拶

大倉 治彦

附属京都小学校

## 「東櫻同窓生のつどい」のび報告

実行委員 山岡 久也

昨年の六月に東櫻同窓会の副会長に就任しました大倉です。前任の納屋嘉治さん（昭和十三年卒）のご逝去により、昭和四十六年卒の私に一気に若返った訳ですが、同窓会と附属京都小学校のため努めていきますのでよろしくお願ひします。

私の小学校の思い出というのと、何と言ってもサッカーのことになります。迫田先生が附属京都小学校に赴任され、紫サッカー少年団を作られたのが私の在学中にあり、その時始めたサッカーを結局大学まで続け、今でも京都パープルサンガを応援に行ったりしています。私の長男も附属京都小学校にお世話になり、もう東櫻同窓会の一員です。三男は現在附属京都小学校に通っています。長男の時

は、色々な形でお付き合いをしています。

現在、少子化と財政難のため、教員の養成を目的とする国立の教育大学とその附属学校は大変厳しい立場におかれています。附属京都小学校が今後も存続し続けるためには、保護者にとって魅力のある学校になるとともに、教育に関する独自の研究成果を出す必要があります。現在、附属京都中学校と共同で取り組まれている小中一環教育の試みも、そのような方針に沿ったものです。今後、国からの予算の削減など、経営面の困難さも考えられ、又、今年開校した同志社小学校や立命館小学校との競争も激しくなるでしょう。

今回の「つどい」の幹事学年は、昭和五十、五十一、五十二年卒の三学年で、その会員有志により企画・運営されました。前回の「つどい」の目標と同じように今回も前回の出席者を上回ることを目標に準備を進めて参りました。

平成十四年六月の「附属京都小学校創立百二十周年記念東櫻同窓生のつどい」が開催された後、我々に幹事がバトンタッチされ、最初の仕事として、平成十五年三月に「東櫻だより」第十四号を発行しました。その後「つどい」に向けていろいろ準備がされましたが、実行委員会が本格的にスタートしたのは平成十六年四月でした。何から始めて良いのかわからず中々前に進みませんでした。前回の幹事学年の綿密な企画・運営を参考に

「東櫻だより」第十五号発行に向け

ての企画がされ「活躍する同窓生」のコーナーを「同窓生点描」と改め、福引の賞品提供のお願い、「つどい」参加の呼びかけと共に平成十七年三月に発行されました。

また、今回の落語の口演者である桂小米朝師との折衝や福引の賞品提供の依頼、ホテルとの打ち合わせなどを終え、同年四月からは、当日のタイムテーブルを基に準備を進めて参りましたが、今回は前回とは違い、大きな節目の「つどい」ではなく出席者が思うように集まらず幹事学年を中心に出席を呼びかけるなどして、無事(?) 当日を迎えることができました。

平成十七年六月十一日(土)午後四時四十分、京都ホテルオークラ曉雲の間において「東櫻同窓生のつどい」が開催されました。まず総会では、事業報告、会計報告、監査報告がされ、拍手をもって無事終了しました。続いて、今回の

司会である中岡さん（五十年卒）より「アンサンブル東櫻」の紹介があり、美しい歌声を聞かせていただきました。いよいよ落語の口演です。桂ちようばさん（京都出身）の前座に続き桂小米朝師の落語がはじまり、演目は当日のお楽しみということ、会場に入ってから会場の雰囲気で決定するといふもので、とても楽しくあつという間に時間が過ぎてしまいました。その後、休憩を挟んで午後六時より懇談会が開宴され、堀内小学校長の祝辞に続き、舞台上の薦かぶりの月桂冠で盛大な鏡開きが行われ、堀場副会長の乾杯の発声で歓談タイムとなりました。あちらこちらで歓喜の渦ができ、とても和やかな雰囲気の中、迫田先生による恩師紹介、多田副校長による学舎紹介があり、みんなが楽しみにしている恒例の福引が行われ、今流行の IT 化を取り入れたコンピュータによる抽選で大いに盛り上がりました。今回の実行委員代表の挨拶と次回実行委員への引き継ぎをし、最後に「アンサンブル東櫻」の皆さんのリードで校歌斉唱をしてお開きとなりました。

- |  |   |   |
|--|---|---|
| 今は、無事「つどい」が終わったことにほっとしております。出席者は、目標に届かず三〇〇名弱で少し残念ではありましたが、実行委員が日々の仕事のある中を助け合いながら、また先輩方のご指導・ご協力を賜りながら幹事を務められたことに感謝しております。また、当日受付でお世話になった方々にもお礼申し上げます。 | 高野賢一様<br>昭和四十八年卒                                    | 14 全日空ホテル 特製パンケーキ 二ケ                                |
| 当日の福引きの賞品をご提供いただいた方々のお名前、ご卒業年、賞品の内容を次に記させていただきます。ありがとうございます。   | 前川商店 高級鶏卵 十二パック<br>前川賢司様<br>昭和四十九年卒                 | 13 かに家お食事券 三枚<br>久世真由美様<br>昭和五十一年卒                  |
| 額装揮毫色紙「和氣生壽福」  | 京果 高級果物 三箱<br>内田 隆様<br>昭和五十年卒                       | 12 清水焼抹茶茶碗 一点<br>河崎尚史様<br>昭和五十年卒                    |
| 東櫻同窓会会長  | 村田洋介様<br>昭和五十年卒                                     | 11 バランスディスク 三点<br>日下部育男様<br>昭和五十年卒                  |
| 千 玄室様  | 二枚<br>三原直美様<br>昭和五十年卒                               | 10 草木染めTシャツ他 十八枚<br>中岡祐子様<br>昭和五十年卒                 |
| 2 ブロンズ・レリーフ<br>元校長 山崎正義様<br>昭和十七年卒   | 7 村田機械（株） ファクシミリ 一台<br>村田機械（株） ファクシミリ 一台<br>昭和四十九年卒 | 9 ラウンジオーク ご飲食券 二枚<br>昭和五十年卒                         |
| 3 会津塗文庫「山帰来」<br>元校長 松井榮一様<br>昭和二十年卒  | 6 前川商店 高級鶏卵 十二パック<br>前川賢司様<br>昭和四十九年卒               | 8 京果 高級果物 三箱<br>内田 隆様<br>昭和五十年卒                     |
| 4 琥珀アクセサリー 四点<br>荻野晋也様<br>昭和四十七年卒  | 5 (株) きよぞう婦人バッグ他 六点<br>昭和五十一年卒                      | 17 防災ラジオ 二点<br>半井智子様<br>昭和五十二年卒                     |
| 5 (株) きよぞう婦人バッグ他 六点<br>昭和五十一年卒   | 13 かに家お食事券 三枚<br>久世真由美様<br>昭和五十一年卒                  | 16 歯ブラシ 十セット<br>堀 竜平様<br>昭和五十二年卒                    |
|  | 12 清水焼抹茶茶碗 一点<br>河崎尚史様<br>昭和五十年卒                    | 15 ストラップ 十点<br>伊藤雅美様<br>昭和五十一年卒                     |
|  | 11 バランスディスク 三点<br>日下部育男様<br>昭和五十年卒                  | 14 全日空ホテル 特製パンケーキ 二ケ                                |
|  | 10 草木染めTシャツ他 十八枚<br>中岡祐子様<br>昭和五十年卒                 | 13 かに家お食事券 三枚<br>久世真由美様<br>昭和五十一年卒                  |
|  | 9 ラウンジオーク ご飲食券 二枚<br>昭和五十年卒                         | 12 清水焼抹茶茶碗 一点<br>河崎尚史様<br>昭和五十年卒                    |
|  | 8 京果 高級果物 三箱<br>内田 隆様<br>昭和五十年卒                     | 11 バランスディスク 三点<br>日下部育男様<br>昭和五十年卒                  |
|  | 7 村田機械（株） ファクシミリ 一台<br>村田機械（株） ファクシミリ 一台<br>昭和四十九年卒 | 10 草木染めTシャツ他 十八枚<br>中岡祐子様<br>昭和五十年卒                 |
|  | 6 前川商店 高級鶏卵 十二パック<br>前川賢司様<br>昭和四十九年卒               | 9 ラウンジオーク ご飲食券 二枚<br>昭和五十年卒                         |
|  | 5 (株) きよぞう婦人バッグ他 六点<br>昭和五十一年卒                      | 8 京果 高級果物 三箱<br>内田 隆様<br>昭和五十年卒                     |
|  | 4 琥珀アクセサリー 四点<br>荻野晋也様<br>昭和四十七年卒                   | 7 村田機械（株） ファクシミリ 一台<br>村田機械（株） ファクシミリ 一台<br>昭和四十九年卒 |
|  | 3 会津塗文庫「山帰来」<br>元校長 松井榮一様<br>昭和二十年卒                 | 6 前川商店 高級鶏卵 十二パック<br>前川賢司様<br>昭和四十九年卒               |
|  | 2 ブロンズ・レリーフ<br>元校長 山崎正義様<br>昭和十七年卒                  | 5 (株) きよぞう婦人バッグ他 六点<br>昭和五十一年卒                      |
|  | 1 額装揮毫色紙「和氣生壽福」<br>東櫻同窓会会長<br>千 玄室様                 | 4 琥珀アクセサリー 四点<br>荻野晋也様<br>昭和四十七年卒                   |
|  |   | 3 会津塗文庫「山帰来」<br>元校長 松井榮一様<br>昭和二十年卒                 |
|  |   | 2 ブロンズ・レリーフ<br>元校長 山崎正義様<br>昭和十七年卒                  |
|  |   | 1 額装揮毫色紙「和氣生壽福」<br>東櫻同窓会会長<br>千 玄室様                 |

# 校舎改修と 九年制義務教育学校

副校長 多田 光利

東櫻同窓会の皆様におきましては益々お元気でご活躍のことと存じます。また、昨年六月十一日(土)の「東櫻同窓生のつどい」も多数の方の参加のもと盛会裏に終わりましたのも、同窓生の方々のお力であると改めて感じた次第です。

「東櫻だより 十五号」におきましては、平成十五年度に改修になりました北校舎について簡単に説明させていただきました。今回は、十五号で「近い将来実施されるものと思います」と書かせていただきました。東校舎の改修について少しご紹介いたします。お陰様で、東校舎も平成十七年の夏休み開始と時を同じくして改修に入りました。第一理科室や第二理科室、家庭科室を始め部屋のほとんどが特別教室であるため、部屋の中にある備品類の移動からして大変な思いをしました。しかし、大変な



思いをした分、校舎の二階には普通教室二つ分のオープンスペースの部屋をとり、その北半分には最新式のコンピュータを備えた第二コンピュータルームと呼びたくなる部屋がお目見えしました。

前回と同様なのですが、改修の基本方針としては、大きく次の三点が中心となりました。

①建物の耐震性向上及び老朽改修

②時代の変遷に応じた設備整備

③学校施設の安全管理の整備  
と、防災上の安全性向上  
そして、安全管理に関しまして

は、管理的な色彩が少し濃くなるのですが、

○東校舎東側、東外庭に格子フェンスを設け、外部から容易に進入できないように、また、車の進入可能なスペースと児童の活動できるスペースとの区分を明確にする。

○東校舎二階、三階は南側へ廊下を延伸し、その先に北校舎に設けたのと同じく、避難路を確保するための外部非常階段を付ける。

○緊急通報設備として、各教室及び廊下より、職員室(教官室と事務室が一つの大きな部屋となる)への緊急押しボタンス通報装置を設置する。

○各教室に内線電話を設置し、防犯対策の一助とする。  
○各階の廊下には、不審者対応のための監視カメラを二台ずつ取り付ける。

等を設備しました。  
北校舎と異なり部屋の配置等が変わりますので、どのような部屋がどこにあるか簡単に紹介いたします。まず一階ですが、受付、事務室を含んだ大きな職員室、それ

に続いて校長室、女子更衣室、男子更衣室、会議室、保健室。それぞれの更衣室にはシャワールームを置く。また、東昇降口両側に用務員室、書類保管室。二階には、放送室、外国人講師控室、備品倉庫、前述しましたオープンスペース、第一理科室、理科準備室、第二理科室。三階は、カウンセリングルーム、普通教室三室(今のところ、四年生い組、ろ組、は組)、家庭科室、外国人児童学習室、児童会室、備品倉庫という部屋が出来ました。当然、北校舎にも採用しました耐震のための補強鋼材の





設置。また、機能面の向上や、効率的なスペース配置を図り教室のスペースに変化を持たせ、多機能的な活用ができるようにするためのスライディングウォールの採用、特に、オープンスペースは廊下の壁もスライディングウォールにしていたできました。北校舎の場合もそうでしたが、各教室には、部分的使用も可能な個別空調方式を採用し、環境にも配慮されたガスによる冷暖房装置もつけました。どのように改修がなされたかは、実際に学校へ来て見ていただくのが最もよくわかってもらえるのではと思います。

京都中学校と共同で進めていまして「九年制義務教育学校」の設立に向けた研究も三年目を終了します。現代社会に積極的に生きる力を育むための学校教育づくりを念頭に、「キャリア教育」をその柱として進めてきたわけですが、実際は九ヶ年かけて始めて研究の成果といわれるものが目に見えて現れてくるのかとも思います。この三年間、「現代社会に積極的に生きるための力を育む学校教育を再構築する」ことを念頭におき京都小学校、京都中学校の連携を進めてまいりました。子ども達は、小さな頃よりたくさんの「夢」を見ます。そして、成長するにつれて「夢」を「理想」へ、「身近な生活」を「社会を踏まえた現実」へ、と置き換えていくことから、徐々に自分の将来展望を見出し、生きる意欲や理想の実現に向けての努力を生み出します。けれども価値観が多様化し、情報化、国際化という現代の社会の中で、ともすれば夢は否定され、子ども達が自分の将来を見出そうとすることに、大きな戸惑いや無力感を感じていることも事実です。そこで京都小学



校と京都中学校の連携という従来よりも長期的な積み上げの中で、子ども達の夢を実現していこうと考えたわけです。そして、そのための大きな柱として「キャリア教育」を設定しました。

小中の九年間を小学校一年生から小学校四年生までを初等部、小学校五年生から中学校一年生（七年生）までを中等部、中学校二年生（八年生）と中学校三年生（九年生）を高等部と区分し、今まで小学校、中学校と別々に進められてきた教科指導における学習内容

や学習方法を今一度見直し、重複やギャップをなくすこと。六年生から七年生への移行をなだらかで効率的なものとし、特に五年生、六年生、七年生という時期の子ども達を、小中それぞれの教員が連続した目で見守り、様々なギャップを少しでも埋め、子ども達が安心感を持って個性を發揮できるようにと考えました。

平成十七年度は、

○校長は小中学校で一人とし兼務する。

○小学校教員一名が、七年生のクラス担任をする。

○小学校教員五名が、七、八、九年生の教科担任として授業を受け持つ。

○中学校教員六名が、五年生、六年生の教科担任として授業を受け持つ。

という教授組織をとりました。

また、文部科学省からの返事は戻ってきていませんが、更に三ヶ年の延長申請をし、研究のさらなる充実、深まりを目指していく所存です。同窓生の方々の重ねての支援をお願いする次第です。

# 高浜臨海学舎の思い出

常任理事 松井 榮一

私達が母校で学んでいた当時の京都師範学校附属小学校では、春秋の遠足や、夏の高浜臨海学舎での水泳訓練、比叡山林間学舎での宿泊訓練など多くの校外行事があり、それぞれ楽しい思い出にまつまれています。

殊に、高浜での一週間の臨海学舎でのことは、今でも心の中にある大切な思い出で、その一つ一つがあざやかにうかび上ります。

昭和十八年夏、太平洋戦争の戦況が大変きびしい中、初等科四、五、六年生児童と高等科一、二年生徒は汽車で若狭高浜に向いました。主食のお米は、割当配給制度でしたので、それぞれ家からお米を袋に入れて持って行きました。

「余米旅館に行くのに何故お米を持っていくの」などといひ合っていました。それ以上に御馳走になり、大変親切にして戴きました。

さて、この臨海学舎での最大の出来事は水泳訓練での「大遠泳」で、遠泳参加者が並んで余米旅館のすぐ前から海岸を青葉山目指して汽車一駅分歩いて行き、そのすそ野の海岸から海に入って遠泳が始まりました。

そして、沖に見える大きな島を目標に泳ぎ続け、島のそばで右におれて若宮海岸に向いました。

やがて足が着く様になりましたが、ひざが、がくがくして立てませんでした。やっと、はう様にして海岸に着き、温い水あめを飲ましてもらったおかげで、元気を回復することが出来ました。

今地図を書きながらあの日の遠泳のコースをたどり、又、海岸の岩や海藻の様子を担当の小槻先生に教えて戴いたのは、東側にある岬の明鏡洞であったことがわかり改めて感謝の気持ちで一杯です。

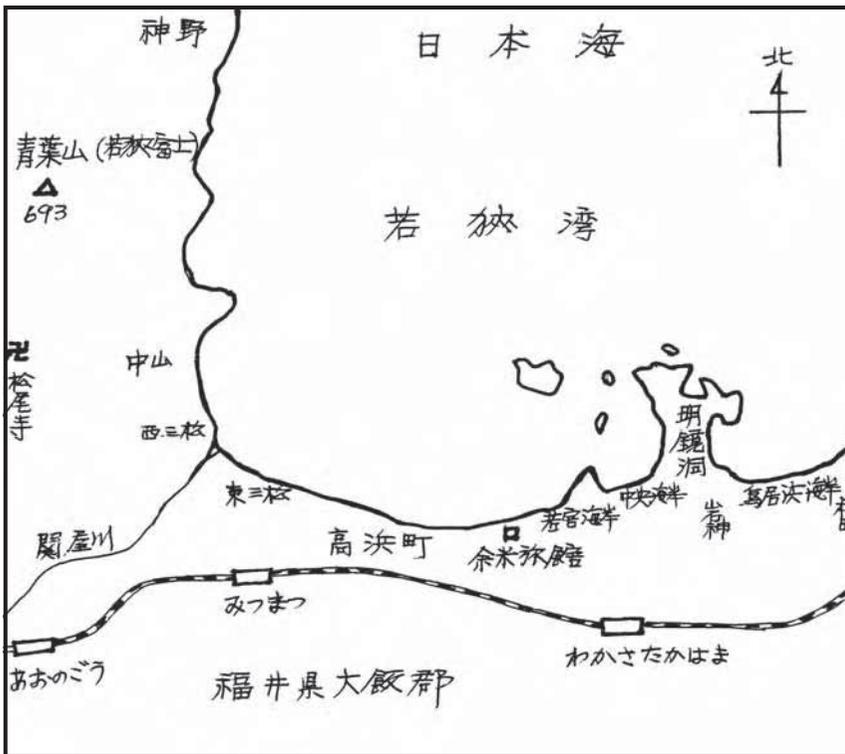
## 高浜臨海学舎の歌

一、青葉の峰を 間近く仰ぎ 二、空は晴れたり 海原ひろし

白砂青松 打ちつづく いでや泳がん しぶきあげ

雪の濱邊と 名もしるき きたえて鐵と わが腕

我が高浜の 臨海舎 勇まし京附 臨海舎



高浜臨海学舎 高浜町附近地図

# ◆ 年次だより

## ■ 昭和八年卒

### 八桜会

卒業して七十二年になります。

紅葉の美しい南禅寺門前、桜鶴苑にて十一月十七日、遠くは東京から二名、奈良、京阪神から、合計十一名が出席。八十五歳とは思えぬ元気な会話がはずんでお互いに近況を語り合い、最後と云わず来年も是非と、再会を約束して散



会しました。欠席の方にも写真を送り、喜ばれました。(前窪 敏)

## ■ 昭和十一年卒

### 寿一会

昭和十一年卒業のクラスであることから寿一会を名付けて年一回の会合を続けている。十七年度は十一月一日に宇治花やしきで男性十名、女性五名が集まり楽しい一日を過ごした。お互いに八十歳を



超えたが健康に恵まれ、気持も若々しいものが多かった。今後も引継ぎ一年一回クラス会を持つことを約束して解散した。(坂部慶夫)  
前列左から大木、坂部、徳永、武部、元濱、安田、谷口、後列、山野、大橋、坂本、組谷、市川、羽田、田村、佐々木

## ■ 昭和十二年卒

学生時代の大方は、戦争でした。皆夫々の分野で、学校でも家庭でも分相応の努力の歲月でした。その後の生活も学生時代の教育を基盤にして秩序ある営みを続けて来て気がつくとも八十歳になっていました。友人もしばらく音信が途絶えると思ったり、他界されたり。それでも元気な者は、夫々に移りゆく世に逆わず自然の気流に乗りながら着実に余生を楽しんでいます。そしてどこかに大和魂を秘めながら人生最後の大きな絨緞を織り上げようと心に太陽を持ちながら日々を楽しく過ごしています。最近嬉しいことがあります。十月二十一日に(株)堀場製作所創業六十年と会長堀場雅夫氏の傘寿を祝う会が京都オークラで賑々



## ■ 昭和十四年卒

### 新桜会

今年で、数え歳八十歳となり、元気で集まれる事を慶び、五月十九日「ハートンホテル」濱登久で

しく開かれました。同級生も元気で友人と共に喜び合いました。私事ですが十一月一日に東京四季出版から「琵琶湖巡遊」を発刊しました。京都も近江も錦秋のよい季節となりました。(梶山千鶴子)



午己会  
我々の「午己会」は、十月二十  
二日、北区の「しょうざん千寿

京懐石の、同窓会を開催した。男  
子十二名女子十二名と六十%の参  
加率で、幹事としても些か驚きま  
した。これも京都の真中で、い  
つも、なにかと世話役を努めてく  
られている諸女子のお陰と感謝しつ  
つ、近況報告や、懇談が続き、交  
友を温めながら、次回を楽しみに  
解散した。(今西 修・高柳みれい)

■ 昭和十七年卒

閣」に集まりました。男女合せ十  
七名。衣笠山を背景に紅葉間近い  
美しい庭園を眺め乍ら、京料理に  
舌鼓うちつつ、藤井薫さんの指揮  
で小学校唱歌四曲を皆なで合唱。  
その時、八木道子さんが「童心に  
心澄む日の輝る紅葉」を詠<sup>よ</sup>れ、団  
欒は何時までも盡ることナシでし  
た。(山崎正義)

■ 昭和十八年卒

紫桜会

十月二日の日曜日に、からすま  
京都ホテルにおいて本年の紫桜会



をもちました。恩師泉先生を囲ん  
で、男九人・女十人が集い楽しい  
「おしゃべり会」となり、リトア  
ニア旅行や放射線治療の思い出、  
池田市の歴史開発の話など、それ  
ぞれバラエティに富んだ話題に花  
が咲き、あつという間の四時間で  
した。各人の話の雰囲気の中に、  
おたがいの六十三年前の個性が甦  
えり、懐かしくまた有意義な集い  
でした。(武石靖彦)

■ 昭和十九年卒

我々の世代は、第一教室と第二



教室に分かれていましたが、第二  
教室は昭和十八年三月末に終了と  
なり、第一教室に合併しました。  
十数年前から。各クラスで同級  
会を開催するよりも、合同でやる  
うと、毎年開催しています。今年  
も、この十一月十一日に京都タ  
ワーホテルで開催され三十九名が  
集まりました。来年も、十一月十  
日(金)に同じホテルで開催予定  
です。(武居三郎)

■ 昭和二十一年卒

早いもので、小学校卒業後六十  
年の浮世の荒波を越えてまいりま  
いた。街中で出逢えば何処かのお  
じいちゃん、おばあちゃんと見過  
ごす人も、同窓会で出逢うと、す  
ぐ、うぶな幼馴染みの笑顔となる  
不思議なものです。私達は前回恩  
師青池先生に続き、滝上先生も卒  
寿を迎えられ、共に嬰<sup>かくしやく</sup>鏢とされ  
て、未だに人生とはを私達に身を  
もって教えて頂き、心より頭が下  
がり肖<sup>あやか</sup>りたい思いです。多くの  
同窓生もお互いに感化しあい、刺  
激を与えあって、若返り帰れるも  
のです。今日迄は未だ第一線の方  
も有り、交通の便利な街中を会場

にしておりましたが、今回は第十回の節目でもあり、自由な時間も増え、大自然の豊かな恵みも欲しくなる年齢です。辺鄙ではありませんが、京都北山の懐、新緑の滴る京の奥座敷、貴船川の畔「ひろや」の川床で同窓会を楽しみたいと企画しております。

平成十八年六月三日正午の再会を楽しみにしています。お元気で

(松澤幸男)

### ■ 昭和二十三年卒 附三会



附三会同窓会(昭和二十三年卒・中学校昭和二十六年卒)は、初秋の十一月一日(火)午後嵐山の「らんざん」にて開催。古希を迎えた四十一名が笑顔を合わせました。又、新聞発表に先立ち、今秋、堀谷義明君が旭日中綬章の叙勲を受けるニュースも、この会に錦を添えてくれました。(野入省吾)

### ■ 昭和二十四年卒

我々の年代は、来年度(平成十八年度)めでたく古希を迎えます。そこでその記念に宿泊旅行を組んで、ゆっくり話をする機会を作ろうではないかということになり、年末に同期生の意向をつかむためアンケートをとりました。

費用はいくらかかってよいとか、外国へ行きたいとか、いろいろな意見が寄せられました。多数の意見はほぼ想定内で、期間は一泊二日、季節は秋、費用は三〜四万円という結果でした。

行き先が問題です。旅行会社では、四カ月前にならないと企画が上らないということですが、十二月現在では伊丹(関空)と東京(羽田)の二方面から出発して鹿

児島空港で合流する「南九州一泊二日」に落ち着きそうです。この「東櫻だより」より一ヶ月ほど遅れて詳しい案内が届くと思いますので、楽しみにお待ち下さい。多数のご参加を期待しています。(迫田恒夫)

### ■ 昭和二十五年卒

年に一回の旧友との再会を、京都新阪急ホテルで、十月一日に開催しました。二十四名の参加でしたが、本当に「あつと」云う間に終ってしまいました。昔の面影が



浮かび子供の頃のシーンの一こまが鮮やかに甦り、歌の先生を迎えての全員での「故郷」の合唱には、六十年前を一気に遡る快感を味わうことができました。(角川正美)

### ■ 昭和二十八年卒

小学校、中学校合同の同期会が平成十七年十月十六日行なわれました。六十歳、六十三歳と開かれた時、次は六十五歳という事になり、今回は男性二十七名女性二十八名、先生四名をお招きして合計五十九名でタワーホテルで行なわれました。中学卒業以来はじめて逢った人もいて、昔話しに花が咲きました。一人ずつの近況報告の中で、附属での教育は大変自由で、いわゆる勉強よりも、体育や遊びつつのびのびと育つことが出来、我々の基礎が出来たのだと思う、今の教え方とは大変ちがうのではないか、これでもいいのだろうか、との話が出て一同同感したものです。男性でサラリーマンの人は、退職後自分の人生を楽しんでいる人が多く、女性の方は子供がはなれて、男性より元気な人が多いのではと思いました。一泊し

て保津川下りを楽しみ、夕方二年後位の再会を約束して、楽しく散会しました。(加藤二郎)

昭和二十九年卒

本年も恒例となっている同期同窓会を六月四日、京都ホテルオークラにて恩師の上原勉、吉川禮三、畑井多津子諸先生及び同期生四十二名が集い開催致しました。賑々しく盛会にて、懐かしく楽しい夕べを過ごす事が出来ました。各々方の近況その他愉快なスピーチの連続で、改めて同窓生の絆の



強さを実感致しました。(竹原清治・山田美彌子)

昭和三十年卒

昭和三十年卒業(蜂須賀学級・長岐学級)の同窓会は、ここ数年開催されていませんが、同級生の仲間を中心にゴルフコンペを春と秋に開催しています。毎回二十名位が各地から集まり、楽しい一日を過ごしています。卒業後、五十年以上経っていますが、コンペ当日の会場では、まるで小学生時代にタイムスリップしたような会話があちこちで交わされています。

プレーの方は、全員還暦過ぎのゴルフアーなのに、若い時の飛距離が忘れられず、珍プレーの続出ですが、マイナス部分は達者な口でカバーし、時には好プレーも。表彰式では、小学生時代には考えられなかったタラレバ中心の反省会。終りには、いつもの同窓会のように、健康や孫の話題で盛り上っています。なお、次回から前夜祭をやるとういう話が出ています。ゴルフをやらぬ方も前夜祭へのご参加お待ちしております。(伊藤 暁)

昭和三十四年卒

九月、品川で同窓会を開く。小中学生時代に戻ると同時に懐かしい母校の校舎が頭に浮かぶ。帰宅後パソコンでグーグルアースを開き、御所の北西にグランドを見つけ、ズームイン。昔のままの小学校の姿に一安心。中学は昔の面影が全くない。やはりさびしさが。衛生写真がこんなに簡単に手に入るとは、時代の変化を実感。(平石謙治)

昭和五十五年卒

去る四月京都のホテルで同窓会、二十五年ぶりに懐かしい顔、顔、顔。多忙な毎日を過ごす我々には一服の「清涼剤」でも、想像以上にみんな若く元気そのもの。自分でも若いつもりだったが(精神年齢)二十五年ぶり。不思議なもので再会するとそんな「不安」も何処へ。談笑にお酒も手伝って楽しい時間に早変わり。

医者、社長、サラリーマンに主婦。既婚者に未婚者(私は後者だったが...)と様々な人生。仕事や家庭の事を聞くにつれ、歳を重ね

ねたんだとしみじみ。暗い話題ばかりの昨今、懐かしく忘れかけてた想い出に心が光りを取り戻したようだ。

みんな、あの頃に戻りたいそんな気持ちを胸に、また恩師の方々と旧友たちとの一日も早い再会を強く約束して別れた。皆様のご発展とご健康をお祈りして。(山下直之)

平成十二年卒

私たち平成十二年次卒業生は、平成十七年一月十日にめでたく成人を迎えました。附属小学校という単位での同窓会は開かれませんが、成人式の会場でたくさん同窓生と再会することが出来ました。

みんな振袖やスーツに身を包み、ランリユックを背負っていた頃とは見違える姿で、少し照れ臭い思いがしました。進学や就職で京都を離れる人も多くなつてくると思います。せっかく堂々とお酒を飲める歳になつたことですし、一度みんなが集まって近況を報告し合いたいなと思いました。(佐々木尚美)

## 会 員 通 信

### 広報委員会

この欄では、同窓会員が図書を出版されたり、音楽会や展覧会等を開催されたりしたことの報告のお便りを紹介しています。

今回は、母校への図書の寄贈について御紹介いたします。

東京都港区に御在住の同窓会員 島田香織様から、御自身が経営して居られる「株式会社フォーバイフォーマガジン社」からの出版物『危機管理マニュアル』を母校に寄贈したい旨の御連絡があり、書物が送られてきましたので、母校附属京都小学校へ、島田様のお氣持と、書物の内容を御説明の上お届け致しました。

この書物には、地震等の災害発生時の救命手当の方法や、防災常備品の資料が記されていて母校でも大変喜んで受領して戴きました。

島田香織様は、附属京都小学校に第四学年まで在学され、お父様の転勤の為、東京の小学校に転校されました。先日、京都へこられた時に母校を訪ねられ、東櫻同窓会への入会の御希望をうかがいま

したので、東櫻同窓会会則の規定に依り常任理事会の議を経て、同窓会正会員（昭和三十三年卒る組名簿記載）となりました。妹さんの島田璃里様も同様にして同窓会正会員（昭和三十六年卒い組名簿記載）です。尚、お二人のお父様の島田松之助様は、昭和六年第二教室を卒業して居られます。

### 母校に寄贈された同窓生の著書

同窓生の方が出版された御自分の著書を、母校の先生方や児童達の参考資料として御寄贈戴き、大切に保管して閲覧されている図書は相当多数にのほります。

その中の、文教図書出版刊行の『青少年に贈る言葉わが人生論』京都編（中巻）には各界で活躍中の方々が就筆して居られますが、東櫻同窓会会長で文化勲章を受章された第十五世千 宗室様（現在の千 玄室様）を始め何人も同窓生の方々の稿が載っています。

第二教室卒業の方の「樫の實文庫」には、経済史学の御業績で文化勲章を受章された大塚久雄先生の著作集全十三巻（岩波書店刊）始め百五十冊の図書があります。

### 会員名簿の発行に寄せて

名簿委員長 山本あや子

三年ごとに改訂する東櫻同窓会会員名簿（二〇〇五年版）がようやく完成し、十二月初旬に購入希望された方に発送させていただきました。

会員名簿の作成に当たりましては、年次理事をはじめ、多くの方々にご協力いただき感謝いたしております。

同窓会の活動には会員名簿の作成が欠かせません。しかしながら、昨今、こうした個人情報報が第三者に渡って悪用されるケースが増え、お互いに、その取り扱いには十分注意しなければならぬと存じます。

まだ残部がございますので、ご入用の方は事務局宛お申し込みください。価格は送料込みで二千円とさせていただきます。

なお今後、会員名簿に住所や電話番号の記載を希望されない方についてはご希望に沿う線で考えておりますので、ご連絡ください。

### 表紙写真解説

広報委員長 松井 榮一

表紙の写真は、附属京都小学校体育館兼講堂の北側入口の向って右側壁面にある「春・夏・秋・冬のレリーフ」であります。

左下部に「春・満開の櫻の木とそこに舞う鳥、ボールを手でつく子供と足でボールをける子供」、中央上部に「夏・空に浮ぶ雲と水面を走るヨット、水しぶきをあげて泳ぐ子供、そして水中の魚」、中央下部に「秋・紅色に色づいたもみじと落ち葉、なわとびをする子供、そしてこれを見つめる猫」、右上部に「冬・雪をかぶった樹木、スキーで雪の上を、スケートで氷の上をすべる子供達、そして兎」。

この作品は、母校創立百周年記念事業の一環として山崎正義先生にお願いして製作して戴いたもので、正面玄関の「おはようの像」と共に、なつかしいものです。

山崎先生には、京都教育大学の「はぐくむの像」四條大橋東詰の「出雲のお国像」千本釈迦堂「阿亀像」等多くの作品があります。

# 同窓生点描

## 京都市子育て支援政策監 ごどもみらい館館長

昭和三十八年卒 浅野 明美

学舎情報 そして今…



ボンネツトバスに揺られ、「北大路新町」で下車する

と、あの頃は直ぐに立派な屋根と堂々たる正面玄関が見えました。二年生からの高浜の臨海学舎では、毎年遠泳に参加し、船からの水砂糖や浜に上がってからの飴湯が楽しみだったこと、四年生の時にプールが竣工したこと等が、中学時代の水泳部活動に繋がって行ったように思われます。

卒業文集の「二十年後の私(?)」に「外科医になっていきます：云々」と書いてあると、正に二十年後に級友に指摘され、本当に驚いたことを思い出します。

社会人としてのスタートは京都市立病院小児科からでした。尊敬する大先輩に「京都市の母子保健の分野を手助けしてくれないか。」と導かれ、下京保健所と兼職になりました。平成三年には、関連する多くの職種の方々と「京都市乳幼児健康診査マニュアル」を作成また「京都市母子保健計画」を策定しました。

平成五年西京保健所長、平成九年南保健所長を歴任しました。各々の赴任時に、管内の子ども「虐待死」に遭遇しました。子どもの人権侵害である「虐待」の防止・予防に取り組むため、各行政区の特性を活かした「虐待防止ネットワーク」を立ち上げることに奔走しました。理解ある各種団体・関係機関そして職員の協力により、その時点ではまだ世論の認知も得ていない中で、活動が始まったことを、誇りに思っています。

私自身は、保健所の母子保健の

中心事業である「乳幼児健康診査」における母子との診察の場での接点を、原点として現在も尚、大切にしてきています。平成十一年に、思いがけず「母子保健奨励賞」を受賞した際、天皇后両陛下と親しくお話しさせて頂いたことは一生の心の宝物となりました。

平成十三年は南区長というサブライズ人事。地域の人々の熱いパワーを見、行政とのパートナーシップの大切さを第一線で学びました。

平成十五年には「子育て支援政策監」「ごどもみらい館館長併任」を拝命。市長から「保健医療福祉教育を子育て支援の視点で横断的かつ統括的に見るように」のお言葉を頂きました。平成十七年一月、新「京・子どもいきいきプラン」を策定。少子化、核家族化の中での子育て家庭への応援策を地域の中で肅々と展開しながら、新たな次策を考えて行きたいと思えます。

あの学舎の中庭の金木犀の香りを思い出しながら…

## ヴァイオリニスト

昭和五十一年卒 竹澤 健



フランス 北東部のメッス市に本拠を置く国立ロレーヌ

管弦楽団のコンサートマスターに就任して十五年になります。東京芸術大学在学中にパリのコンセルヴァトワールに留学してからフランス生活二十年というわけです。

父がヴァイオリンの先生だったこともあり、ごく自然に楽器を手にし、音楽と共に育ったのは幸運でした。物心付いてからいろいろな演奏家の録音等を聞く機会も増え、その中から自分が共感を覚える演奏家がフランス人だったり、専門的にいうと「フランコ・ベルギー派」のヴァイオリニストが多い事に気が付きました。そして、大学卒業後できればヨーロッパに行って本場の空気を吸ってみたいと思うようになりました。

ヴァイオリンの演奏法には昔からいくつもの伝統的な系列があ

り、それぞれの特徴があります。現在は、人間の移動が簡単になった事、コンクール等で理想が一定化した事、東洋人やアメリカ人が（もともと西洋音楽の地盤がない人種という意味です）どんどん一線に出て来た事等によってインターナショナルに統一されて来ています。世の中のどの分野でも共通する事ではないでしょうか。基本的に酪農国であるフランスですが、拡大されたヨーロッパの中で自国の源となつていているものを守りきれなくなつて来ています。あらゆる意味での進歩が根本的なアイデンティティーを消してしまうという矛盾との葛藤は避けられなくなつて来ています。

僕は大学在学中に夏の音楽祭で、パリで後の恩師となつた先生とめぐり会い、とんとん拍子に話が進んで渡仏しました。実際にヨーロッパで生活してみても、石畳にしみ込んでいるような伝統や、それぞれの言語からくる抑揚やリズムやタイミングというのを体で感じました。理屈として勉強するのはなく意識せず身に付けることができる環境だったので。子供達

の教育でも同じ事が言えるのではないのでしょうか？

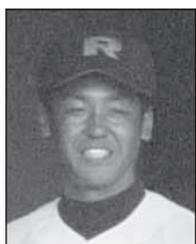
その点においての僕の附属京都小学校の思い出のひとつは、生徒達にいろいろな事を経験させるようにとの意向でスポーツや文化行事が豊富であつたことです。自分の子供達が学校に行くようになって今、フランスの小学校と比べても恵まれていたなあと感謝する気持ちでいっぱいです。先秋貴校友会主催のコンサートを行う機会を頂きましたが、今回は是非とも子供達のために彼らに身近に音楽を体験してもらえればと思つています。

### 野球部監督

昭和五十三年卒

中村 圭吾

夢中になれるもの



附属小卒

業生の皆様  
お世話になつた先生方  
お元気でい

らつしゃいますか。私は現在、立命館中学・高等学校保健体育科教員として勤務しております。原稿

の依頼を受け、何故私かという思いでしたが、高校野球の監督をしているのが氣にとまったというこゝとで妙に納得し、恥ずかしながら寄稿させていただいた次第です。

私事、新任より勤務校に赴任し、もうかれこれ十八年の月日が流れようとしています。その間中学野球部を八年間、高校硬式野球部監督を引き受けて十年になります。昨

今の戦績としては夏の選手権京都大会でベスト八が二回。昨年度はベスト四と今一步のところ甲子園出場にとどきませんでした。当初の部員数二十名足らずであったチームが現在三年年で七十名を越える大所帯になり、選手たち若いエネルギーがいつもグラウンドに充滿しています。今年四十歳になった私も、いつまでも若い青春時代を感じさせてくれる選手たちに感謝しています。本校はスポーツ推薦制度がないため、中学からそのまま上がってくる生徒と外部入試で入学する生徒で構成されていますが、学習面でも要求が高く、文武両道を目指し、少ない練習時間・小さいグラウンドでも創意工夫しながら活動をさせています。

私の持論は、いわゆる「おぼっちゃん」にならず、「夢中になれ！」を合い言葉に、真摯な姿勢の中に配慮や感謝の心を持った社会的リーダーを育成する事です。若き時代に夢中になったスポーツを通し、日々成長していく選手たちと共に熱い時代を過ごしながら、並み居る強豪校と張り合っていく野球の楽しさを今もなお追い求めています。

思えば、附属の四年生から本格的に野球を始めた私ですが、中間休みや放課後はいつも友人たちと真つ先に運動場に出て手打ち野球やハサミなどに興じていました。ルールを自分たちで決め、審判などいないので喧嘩も起こりましたが、知らずと自分たちで解決していました。スポーツの原点は遊びにあります。その楽しさが今の自分の体育指導の原点にあります。今はたまたま実家に戻るときに附小の横を通りますが、あの当時大きく見えた大運動場が今はすごく小さく見えるのが懐かしいです。初めて丸坊主で登校した時、皆に笑われ、気持ちがいいと頭を触られまくつた恥ずかしさは今もほろ苦い思い出です。また皆さんに同窓会でお会いできたらと思います。

恩師のご消息

お二人の恩師がご逝去になりました。心から哀悼の意を表します。  
伊藤 勝章先生

平成十七年三月三日ご逝去

昭和四十七年度から五十六年度  
まで附属京都小学校にご勤務

小林 博一先生

平成十八年二月十六日ご逝去

昭和五十一年度から五十八年度  
まで附属京都小学校にご勤務

常任理事会報告

平成十七年三月六日 於附京小  
出席十五名 委任五名 会成立

・東櫻だよりの発送の段取り協議

・総会の持ち方の協議

・会員名簿については個人情報

・守秘義務を喚起して発行するこ

ととする

・空席の副会長について

昭和四十六年卒業の大倉治彦氏  
に候補を絞り、総会で承認を得

ることとする

平成十七年八月七日 於北文化会  
館

出席十五名 委任六名 会成立

・新しいメンバーによる常任理事

会の初会合、自己紹介に続いて

理事会内の役割分担を決める

・総会の総括―実行委員会の報

告を受けて

小米朝師の落語はよかった

初めて会員によるコーラスが

披露されたが、こうした活動が

もっと紹介されるといい

無断欠席が二十名あったのは問

題

案内状だけでなく、電話で誘わ

ないと出席は得られない等々

・理事会内の分担保で今後の活動

について協議

・次期実行委員会からも代表三人

に入っていたいただき、一緒に協議

を進めた。

平成十八年二月二十六日(日)

原稿締め切り時点で未開催

東櫻同窓会

ホームページアドレス

http://www.nacos.com/  
higashisakura/

編集後記

「担当幹事が回ってくるぞ」と  
の先生からの電話で、初めて出席  
する者も多かった昨年の東櫻同窓  
生のつどい。その後、昭和五十三、  
五十四、五十五年卒の三学年が大  
役を引き継ぐ事となりました。

初仕事となる今号の「東櫻だよ  
り」の編集作業で、日本や、世界  
を又に掛け、様々な分野で活躍す  
る同窓生の原稿に感銘を受ける  
中、在校生の片岡さんと桐山さん  
の全国「子どもアイデアコンテス  
ト」入賞のニュースを耳にし、東  
櫻同窓生、在校生のスキルの高さ  
に改めて驚かされました。

又、表紙撮影の為、訪ねた十八  
年ぶりの小学校。様変わりした体  
育館や、講堂。新しく生まれ変  
わった施設等の合間にも、昔の面  
影が残っている物もあり小学校時  
代を思い出し、一時タイムスリッ  
プした気分になりました。

最後にお忙しい中、寄稿して頂  
きました皆様、誠にありがとうございました。  
この「東櫻だよりの  
印刷について中西印刷の皆様  
にお世話になり有難う御座居ました。

## 東櫻同窓生のつどい



同窓会総会の様子



講演者の後の乾杯

肖像権保護のため削除



「アンサンブル東櫻」のコーラス



懇親会の会場風景



受付の情景